



第23巻 編集後記

『言語文化教育研究』第23巻をお届けします。今回45本のご投稿をいただき、うち20本（論文13本、フォーラム7本）が採択され、掲載される運びとなりました。

論文には、言語や教育現場の別を超えて、言語教育環境、学習環境、教育環境をめぐって理論と実践を行き来する豊かな論考が掲載されています。個々の言語の個別の教育現場に視野を狭めるのではなく、他の教育現場での知見や開かれた議論に目を転じ、横断的に言語文化教育のあり方を考えるための一助となれば幸いです。

本巻の特集テーマは「ローカルガバナンスと言語教育」です。冒頭の講演記録には、年次大会の開催地となった山口県において、外国人住人との共生社会の構築を目指して活動を続ける関係者による、地域の仕組みづくりの話が掲載されています。その中でもベトナムから10年前に来日し、現在では山口を盛り上げようと考えているという大田ナムさんの報告は、言語教育と個人の人生、また地域社会で生きることが、それぞれ強く結びついたものであることを改めて想起させてくれます。一方で、グローバル社会においては、日本を含んだ複数の国家が緊張状態にあり、これに煽られるように、報道やSNSでも排外主義的な言説を目にすることが続いている。言語教育の関係者としては自分の無力を実感する場面もありますが、これは偏見や差別に対して言語文化教育にできることが、まだ多く残されていることの証左であると考えることができます。

『言語文化教育研究(SLCE)』では、言語と文化の教育をめぐって新進的な思索や教育実践のあり方を示し、引き続き、新たな議論を巻き起こしていきます。ご関心をお寄せいただき、多くの読者に議論にご参加いただけることを願っております。

学会誌編集委員会委員長 牛窪 隆太

学会誌編集委員会

飯野 令子	牛窪 隆太(委員長)	北出 慶子	後藤 賢次郎
瀬尾 悠希子(副委員長)	田嶋 美砂子	田中 里奈	中川 康弘
松尾 憲暁(特集担当)	松田 真希子	三代 純平	山本 晋也(特集担当)

査読協力者(本巻担当)

秋田 美帆	有田 佳代子	井本 由紀	宇佐美 洋
大石 海	大河内 瞳	岡本 能里子	小栗 優貴
小畑 美奈恵	香月 裕介	勝部 三奈子	木村 かおり
熊谷 由理	近藤 有美	佐藤 正則	塩谷 奈緒子
志賀 玲子	嶋 ちはる	島崎 薫	白石 佳和
末松 大貴	杉本 篤史	杉本 香	住田 哲郎
瀬尾 匡輝	高村 めぐみ	寅丸 真澄	中井 好男
中村 香苗	中山 亜紀子	中山 英治	牲川 波都季
波多野(上川) 多恵子	福島 青史	福村 真紀子	古屋 憲章
細川 英雄	丸田 健太郎	南浦 涼介	三輪 聖
山川 智子	山本 泊里	山本 晋也	義永 美央子
米本 和弘			(敬称略)

言語文化教育研究 第23巻

発行日 2025年12月21日

編集・発行 一般社団法人 言語文化教育研究学会
事務局:〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-7-14
早稲田大学日本語教育研究センター寅丸真澄研究室内
E-Mail: contact@alce.jp